

スポーツ講演会

わたしのチャレンジ！
右往左往しながら

「FIFA女子ワールドカップドイツ二〇一一
優勝日本代表メンバー川澄選手等を育てる」

講師／日本体育大学准教授・女子サッカー部監督

矢野晴之介

講演内容

■代表選手の共通項

・高校生の時代から

すべてで自分で用意できる。

(昨年バルセロナを訪問した際、デ

イレクターは、「メッシ等の選手は育てようとするのではなく、授かるものだ。」と話していた。)

・しっかりとった状況や

環境を整える。

(膝のケガをした選手は、悔しがっても泣かない。夢が自分にフツと湧いてくるので、心配しなくても良いと気持ちを切り替えて、翌日からリハビリに励む。有吉選手は、代表合宿で、手の甲をケガしたが、包帯をして、リフティングをしていた。こういう選手こそがトップアスリートと思う。)

■サッカー指導者への道のり

流されたからこそ
遠くへ行ける

哲学、社会学、経営学、マネージメントなどの勉強をしていて、実は、サッカーの指導者は、目指して

いませんでした。むしろ…嫌でした。日体大に就職して、体育原理の研究室に入り、学長から「サッカー部の手伝いをしてくれ」と。最初は、サッカー選手の技術が素晴らしく、こんなに女子でも出来るんだ！と驚きました。

目標にひた走り、そこに向かつて一生懸命走っていく…。
右往左往しながら、巡り着く…。

■様々な視点からサッカーの指導者を捉える

※オランダ人とドイツ人

(憲法・歴史・教育・地域文化の違い等を理解することが大事。)

オランダ人は、フランクで自由な人が多い。ドイツ人は、厳格な性格、規律正しい人が多い。

※無農薬リング

農薬を使つたなリングは、最初はピンピンしているが、時間がたつと腐る。無農薬のリングの木は土をしつかり整えるとスクスク育つ。

※NYの地下鉄

車内は混んでいた。父親がボートと立っていた。子供たちは、長男は、ボートと立っていた。次男は泣きわめいていた。長女は、車内を飛び回っていた。



近くにいたおばあさんが注意したが、父親は何もしない。我慢出来ない若者が大声で注意した。周囲の人も「そうだ、そうだ。」と同調した。父親は、「すみません。」と誤った。「子供たちの母親が交通事故で亡くなったので、ボートとしていた。」

若者は、その人にはその人の色々な問題や背景があることを知った。学生たちは、色んなサインを出してくるので、その子(選手)がどんな状況にあるかしっかりと見極める必要がある。